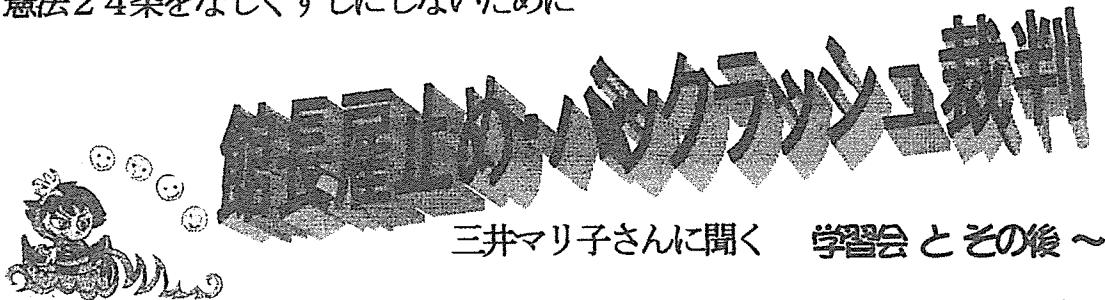




| | | |
|--|--|--|
| No.260 | 2005.08. .発行 | |
| あごら札幌 連絡先 011-644-2927 細田 | 今月通信担当 谷百合子 | |
| 《 今 月 の 内 容 》 | | |
| ◆館長歓迎・バックラッシュ 裁判(三井マリ子さん) (P.1とP.8) ◆本と暮らす(P.2,P.3) | ◆中紅茶の時間(P.4,P.5) ◆やまばり不動産かー ◆好き(P.6,P.7) ◆情事(P.8) | |
| 通信購読料(年間)1200円 郵便振替 02710-3-570 あごら札幌 | | |

憲法24条をなしくずしにしないために



三井マリ子さんに聞く 学習会とその後～

7月30日、三井さんをお招きし、少数・精鋭?で、バックラッシュ裁判の学習会を行った。三井さんは一貫して男女平等にこだわって活動してきた。それは、男女が平等になることが、戦争をしない平和な国に一直線に繋がるからだ。この間、男女平等の先進国ノルウェーが、どのようにして平等を勝ち取ってきたかを詳しく講演・著書などで知らせてくれた。そして、男女共同参画条例制定後、大阪府豊中市の女性センター・館長に公募で就任した。男は男らしさを押しつけられず、女も、女らしさを押しつけられず、自分らしく生きることが、どんなに心地よいものか少しづつ伝わりはじめた、と思ったのもつかの間、バックラッシュが始まった。

男女が平等になり、「自分の主人」は自分自身であると自覚し、みんな自分のことは自分で決めるようになつたら、何が、誰が、困るの? 命令ひとつで瞬間を差し挟まず行動する指示待ち人間→人間の心を持たない命令に忠実な兵隊を大量生産したい!・・・この国は、本気で『戦争の出来る国創り』に突進しようとしている。自由気ままに生きているような今の若者が命令ひとつで戦争に行くわけがない…と思っている私の身の回りのたくさんの人たち。今年は戦後60年の節目。あの戦争のときも“ふつうの人たち”は誰も戦争の結末を予想し得なかつた。戦争に反対でも「あれよあれよ」という間に反対の声をあげることすら出来ぬ相互監視状態におかれた。政策に異議を申し立てる者は、どさくさにまぎれて虐殺された。

何が大事か?、いまこの時、何を再優先課題として論議しなければならないのか?わかつてない小泉首相が、「八つ当たり解散」をした。「戦国時代の織田信長が好きだ」という彼は、「自分に刃向かつた者の選挙区には刺客を送る」・・。そして、その『刺客』には女が多い。・・・これって、女を、政略結婚の道具に使つた、まさに「あの発想」ではないか!

本と暮らす

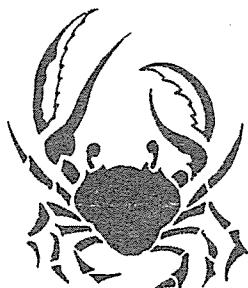
(33) 「笑わせて笑わせて桂枝雀」

上田文世 著
淡交社 刊

いま、誰が何て言おうと、桂枝雀師匠に夢中なのです！！

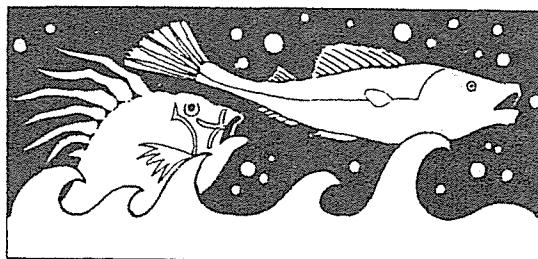
今日も、午前の外来診療が終わる時刻いかんでは、食べるものが売り切れて当たらなくなってしまう私のために、「焼き立てパン」シリーズから密かにお取り置き（！）をしてくれていた優しい優しい病院売店のおばちゃんに「スピバセンネエ」「なんという幸せ者であろうか、と思う今日この頃でございます」なんて、言ってしまうのです。ちなみに、前者はニコニコと笑いながら「すみませんねえ」を枝雀師匠が言うときの発音の癖、後者は放映20年にも及んだ関西での深夜人気番組『枝雀寄席』のオープニングでちょっとした小話を披露するときに「・・・と思う今日この頃でございます」で締めくくる枝雀師匠の癖です。別に、そんな説明まではせずに使用しているのですが、枝雀師匠の口癖をまねっこするたびになんとも嬉しくなってしまう今日この頃なのでございます。

さて、何でもかんでも、インターネット通販で買えちゃう昨今ですが、私が「枝雀落語大全」のDVD版全40巻！！を揃えたときは、そんな安直な手段には頼らなかつたぜい。だって、いろいろと調べたら、新聞広告を出していた会社や東芝EMIから通販（カード決済で簡単）で購入するときと、米朝事務所から通販（入金は郵便振込みのみで面倒）で購入するときとでは、新聞広告ではオマケは手ぬぐいだけだったり、東芝では第1期特典DVDの内容も貧弱だし第4期には特典DVDがつかなかつたりで、大きな大きな差があることが判明したからです。ここらの「調査」にあたっては、もちろん、神戸在住のお笑いのお師匠の活躍による基礎資料の提供があつての話ではありますが、特典の内容を昼休みに病院から大阪の米朝事務所に何回TELして確かめたことか・・・（うちの病院の事務長さんには内緒よ！）。



そして、英語落語が入っている第4期から、10巻ずつ取り揃え始めたときの興奮と楽しさといったら！！ 毎晩、楽しい楽しい「枝雀寄席」を愛犬ももを膝にのっけて観て、笑って笑って過ごしております。気に入った演目は、そうですね、例えば「地獄八景亡者戯」（じごくばつけいもうじやのたわむれ、と読みます）などは、もう30回以上観たでしょうか。「SAGI-TORI」（「鷺とり」の英語バージョン）や「ロボットしづかちゃん」「義眼」なども15回は超えていると思います。最低、どの演目でも2回以上は観ていますね。

何がそんなに私を惹きつけて離さないのか・・・60演目を超える豊富なレパートリーのほとんどすべて（人情嘶を除く）を爆笑なしでは終わらせない力量があったから？ 「英語落語」という新ジャンルの開拓者だったから？ とちっても、それ自分で笑いをとってしまい、「自分もお客様も共に楽しむ」爆笑王だったから？ うつ病という持病もちで、生真面目で努力家だったから？ その全部、かな？

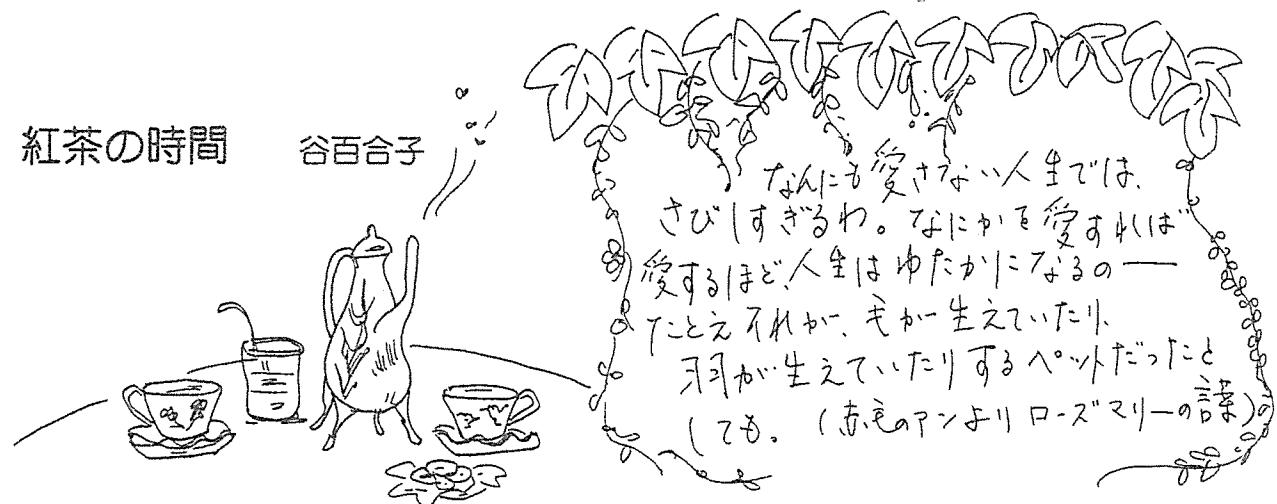


さて、かような私の”枝雀熱”に火をつけたのは、お笑いのお師匠がプレゼントしてくれた「地獄八景亡者戯」のCDです。これを聴いて、腹筋が痛くなるくらい笑ったあと「どう考えても、これは表情・しぐさでお客が笑ってる。どんな表情・しぐさをしているんだろう？ 観たいよ観たいよ！！」と1枚だけ、アマゾンの通販で「地獄・・・」のDVDを購入して観た日から、私の人生は「枝雀師匠以前」「枝雀師匠以後」と時代区分されることになったのです。あと7年早く上方落語に目覚めていたら、生きてる枝雀師匠の高座を楽しめたのに・・・とそれだけは悔しくて残念で残念でなりません。

この本は、そんな桂枝雀師匠の7回忌追善落語会で販売していたものを購入したものです。これを読むと、「ひたすら笑わせることだけにいのちを燃やし尽くした嘶家」（帯のコピーより）の全貌が見えてきます。100年にひとり、というくらいの嘶家の伝記というだけでなく、生真面目で努力家で「100でない自分には満足できない」という典型的なうつ病気質のひとの苦闘の数々も見えてきます。

(小松ともみ)

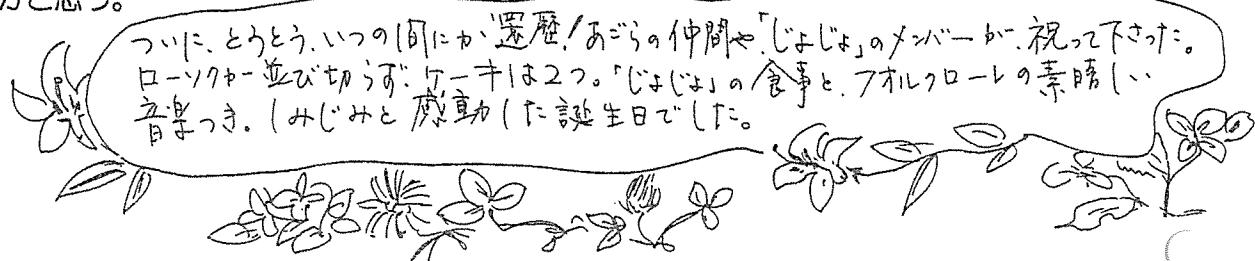
紅茶の時間 谷百合子



<いつの間にか風は秋>

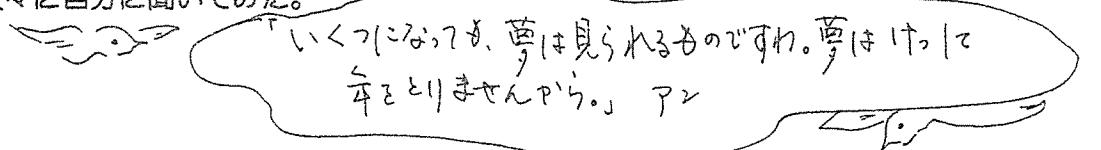
草原と化した家の庭にも、いんげん、ズッキーニ、トマトなどが草の中から顔を出している。両隣りのお宅やお向かい、畑をしている友人からもお野菜を頂いて、いろんな野菜料理を作っている。

先日、新潟の友人から人が入っていそうな大箱が届いた。中には大輪のカサブランカがドーンと20本！遅ればせながら誕生日のお祝いとの事。大感激である。お向かいのHさんに百合の花と一緒に写真を撮って頂いた。Hさんは写真が趣味で、「自分の気に入った写真が一枚あるという事はとても豊かな事だと思いませんか。谷さんの誕生日プレゼントは写真にしよう」と二人で話したとの事で、彼女が三脚を持ち、彼がカメラ道具持参でやって来た。H家のつるバラの下で写真を撮っていたら近所の人が寄って来た。「葬式写真よ！」と言うと皆笑っていた。知人のお母さんが90才で亡くなった時、息子は20代の若い母の写真を飾ったと聞いた。これも有りではないかと思う。



<欲望が小さい？！>

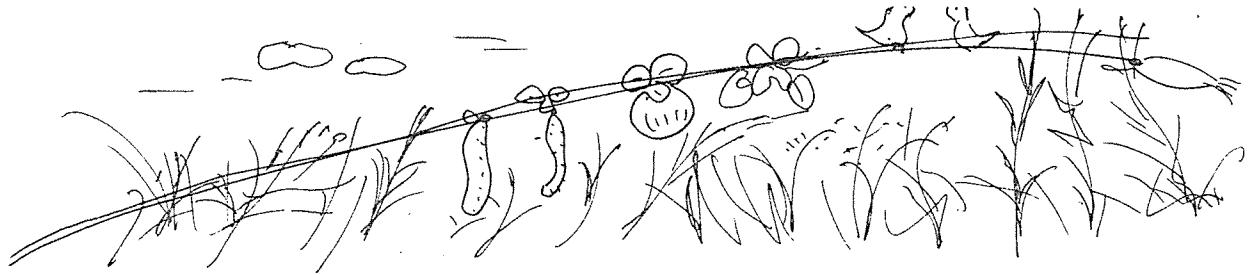
青年俳優が蜷川幸雄の演技指導の話をしていた。「欲望が小さい！」とどなられたと言う。望みとか目標が低いというのではない。「欲望」である。生きてるかい？輝いているのかい？！と、久々に自分に聞いてみた。



<三低男について>

あごらのE子さんが面白い記事があると持てて来た。昔は結婚相手は「三高」と言っていたが、今は「三低」との事。①低姿勢②低依存③低リスク。①は男をカサにして態度の大きい男。②は相手をお手伝いさんかの様に使い、生活感覚のない男。③は経済的に自立していない男。要するに、働く女は、この三低がなければ暮らせないという事である。③の男に貢ぐ女もいるのがも知れないが…。

(4)

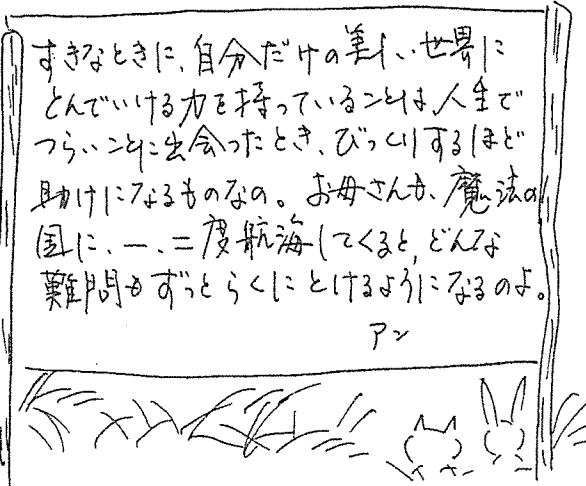


これらの条件は、私たちリブがそれこそ、大昔から言って来た事である。そして、この三つはそつくり女たちにも当てはまるのである。ところが昨今、「女たちよ家へ帰れ」の声が日増しに大きくなっている。生活能力のない右寄りの男たちの叫びらしい。女が外に出るから子どもが悪くなるってホント？私の母は7人家族のお手伝いのように働き、専業主婦であったが、私は立派な非国民になった。今、男は戦争、女は銃後の波が押し寄せている。大阪豊中市女性センター館長雇止めの三井マリ子さんの例が物語っている。私たちは敏感にこれらの反動に向かわなければならない。三井さんの資料を見て、これは彼女だけの問題ではないと思った。パックラッシュ年表の中で、2002年6月、「行き過ぎたジェンダーフリー教育や性教育から子どもを守る」とし、民主党議員78人が「健全な教育を考える会」を結成。とある。又、ジェンダーフリーという表現が各地の議会で削除されている。三井さんを雇止めにしたパックには、生長の家、靈友会、石原慎太郎、新しい歴史教科書をつくる会等々の力が大きく動いているのだ。今こそリブの正念場である。

軍隊の中での女性差別を云々している時ではない。男女平等の問題が戦争にどう係わっているのか政治として問われているのだ。私は、女性学とかシェルターに取り組んでいる人と青森県六ヶ所村で会った事がないし、反核の集会や反原発の集まりでも会った事がない。イギリスのグリーナムコモンの流れの女たちは身体を張って核を止めている。日本のリブは、その点で欲望が小さいのかな。憲法24条をつぶされない為に、中年になったリブ達が身体を張る時が来たのである。



<楽しきかな熟年！>



アン

あごらの長年の読者であるYさんは自然派レストランをしている。率直で飾らない人柄でチャーミングときていてるから男性ファンも多い。勿論女も然り。音楽好きが多くて、そこでコンサートもする。熟年男性が畑に目ざめた。市民農園の中で彼等の農作物を女たちが収穫に行く。口を真っ赤にして、畑からいちごをむさぼる。アートのような農園で、ひまわりの花の中で、正装してフルクローレを演奏する。現地調達の野菜でバーベキューをする。なんとも健康的な中年層の交流が「じょじょ」の空間に漂っている。彼等はメル友でもある。彼等は、欲望は少し小さめかも知れないが、ピースコンサートの呼びかけにも協力する。身体も脳もやわらかい人々なのである。8月11日のピースコンサートは実に楽しく内容もあったと思う。音楽は若者だけの特権ではない。詩やメッセージを読み、歌い、楽器を奏で、反戦を皮膚感覚で表現する。足元に来てい戦争と闘う勇気の源は、身近な所にあるのだ。「茶色の朝」にならない為にも。

(5)

やっぱり不動産が好き！！（3）

K. S

★所有物件編★

[4 札幌のマンション購入と売却]

夫をガンで失い、人の命には限りがあることを実感したので、後悔しないように自分のしたいことをやっておこうと考え、大学へ入学することにしました。まともに試験を受けたのでは到底入学は覚束ないのですが、社会人入試という制度があり、幸運にもⅡ部に受け入れてもらうことができました。早速4月からの入学に備え札幌地裁の競売に何回も入札でしたが落札することができず、かなりあせってインターネットや住宅情報その他で大学、職安、社保、労基署に近い物件を探したところ地下鉄東西線西11丁目駅から徒歩10分強のマンションを見つけることができ、財閥系の某不動産会社の仲介で購入しました。この間、頭の中は寝ても覚めても不動産一色となり、これに引き続く引越も含め夫の死後約半年の間、辛い現実を直視せず気を紛らすことができたのは今から考えるととてもありがたいことでした。その頃は、何かというとすぐ涙を流し、不眠症に悩まされておりましたが、広い家にたった一人でいても私のことを見守ってくれる温かいまなざしを不思議といつも身近に感じることができました。

入学後、幸いにしてパートの仕事も決まり、大学の山岳会にも入れてもらったりたので、朝から夜中まで1日中、そして週末まで予定のびっしり入った毎日が始まりました。新しく入居した札幌のマンションは築20年超の3LDK（約70平方メートル）で、一人暮らしには広すぎると思っていたが、本や書類を選別せずに持ち込んだため、2部屋はすぐ埋まり、読みきれなかった新聞等も新たにたまり続けリビングも可動スペースが限られるほどの不自由な生活の中に猫のハリーを迎え入れたのでした。

引っ越してすぐ、マンション管理組合の理事長から理事のなり手がなくて困っていると誘われ、理事を引き受けました。最初の1年間は月1回の理事会に出席する程度でしたが、2年目は懸案の駐車場のロードヒーティングを行うことになり月に何度も召集がかかりました。そして業者は決まったものの代替駐車場の確保が難しく次年度に行うこととなりました。

2年目の冬、マンションの分譲業者である某中堅商社（他の商社との合併が決まっていました）から近隣家屋に対する電波障害対策施設（アンテナと電波を各戸に送るためのポールや電線等）は規約上管理組合の費用負担において組合が管理すべきものである。このことは重要事項説明書にも書いてあり、当社の顧問弁護士もこの見解を支持している。このため、近くで某マンション専業業者が建築予定の物件を経由する電線を振り分ける費用数百万円は組合で負担せよとの突然の要求がありました。理事長、副

理事長はこの金額を少しでも減らす方向で考えたいが、引き受けざるを得ないとの見解でした。私は、たとえ管理組合が引き受けるにしても通常分譲が終了した時点で引き渡すべき事務を約20年間にわたって引き続き分譲業者が行ってきており、速やかに引き渡さなかった分譲業者に帰責性があるのではないかと思われる点と、今までの管理の経緯を記した文書も合併のどさくさで全部廃棄してしまっており、内容が不明な債務を数百万円の負担付きで引き受けろという乱暴な要求にすぐ結論を出す必要はないで、話し合いを続けるべきだと主張しました。マンションの土地は、某業者が任意売却で購入する前に、競売にかかっており権利義務に関する裁判所の文書に施設（ポールと電線）の債務を引継ぐことが記載されていたはずなので、業者はこれを認識していたと思われるので施設を撤去する必要はなく、どうしても撤去してもらいたいのであれば振り分け以外の安い方法も検討すべきであるし、費用は某商社とマンション業者が負担すべきであると主張しました。理事長は、競売の資料が変更になり今は権利義務について記載されていないと主張しましたが、3点セットと呼ばれる作成書類に変更はない旨裁判所に確認を取りました。どうして理事長は管理組合の利益にならないような主張をするのかと不信感を持ちました。その後、某商社から署名が欲しいと送られてきた議事録には、自分の都合のよい点だけが書き連ねてありましたので、すべての点に反論した詳細な文書を作成し、相手方の反論にはその都度各理事の承認を得て再度文書を作成し、文書合戦となりました。東京の先方の担当者から今後はメールでやり取りしたいので、アドレスを教えてもらいたいといわれ、アドレスを伝えたところウイルスが送られて来、直後に担当者が変わったので、FAXでやり取りをしたいとの文書がきました。防御ソフトをいれていたので、実害はなかったのですがなんて汚い手を使うのかとびっくりしました。結局、すべての費用は某商社が負担するので、今後の管理を引き受けてもらいたいと相手が折れ、管理組合にとって最も負担の少ない方法で決着をみました。

春になり、交通局が管理する閉鎖した施設の駐車場を格安で借りることになっているにもかかわらずどうも理事長に熱意が感じられず、工事をしたくないのかとも思える言動があったので、交通局と施工業者に掛け合って道筋をつけました。

多少のトラブルはあったものの工事は順調に進み肩の荷をおろす日も近いと思われました。ところが、工事代金を払う段になって修繕積立金等約4,000万円と共に理事長が姿を消してしまったのです！

小説のような私の人生で、またもや小説のような出来事に遭遇してしまいました。（事実の羅列で何の面白味もない文章ですが、次回こそ終了したいと思います。）



(1頁からの続き)

三井さんの著書に「男を消せ！」がある。非常にユニークな題名だ。「ノルウェー政界では、なぜ女性が躍進できたのか。…そこには女たちの驚くべき作戦があった…」とある。ノルウェーでは比例代表制選挙はあるが、日本のように拘束名簿ではない。選挙民が名簿順を変えたり、名前を消したり、別の名前を書き加えたりすることが出来る。1971年の選挙で女たちは秘密裏に作戦を開始した。名簿で女の前にある男の名を全て消すのだ。その男が政治力があろうが、有名だろうが、党首だろうが、そんな事は関係なく、男という男を全て消し去るのだ。…この時、女が男を上回った議会が3市。女が40%を以上の市は9市。女がゼロの議会は78市から22市に減った。

私は女ともだちと意見が衝突した時、自分の精神のありようを測る目安として、「この女が、選挙に出たら、私は応援できるだろうか?」と考える。「意見の違いはあっても、相手の全人格を否定するものではない!」どこかで聞いたこのセリフの「人格つきの女」を私は後生大事に守ろうとしている。

しかし、今回小泉の放った刺客は「その女」ではない！ 道具だ！ 道具は簡単に戦争に使われる！

資料とか谷口…方は、あさりに連絡下さい。パンダあります。(干渉)

タカラシ ミニエ

毎日TVや編集(トピデオ(8分)からあります。(倍速OK)

裁判のカバーをお願いします。 Tel. 06-6365-5215 FAX 06-6365-5550

E-mail fightback@hh.fem.jp 木-火-水-木 http://fightback.fem.jp/

情報

連続講座【天皇制ってなに？】天皇制について語ろう。

自由学校「道」 8月28日(火) 18:30分より 1500円

自由と安全を考える (1) 倉利丸さん講演会・監視社会と戦時体制
から2.7(720) 10月25日(火) 1000円

「ジンジャーを学ぶ」 性教育学習会 性教育からカリサーカレ
男女共同参画セミナー(北8西3) (644-2929)

映画「ベアテの贈りもの」 宪法24条の誕生日ベアテさんや一周年
アーバンホール(南3西4) 8月26(金) 10:30分～
8月27(土) 11:00～

「無防備地域宣言」これを道新や大きく取り上げてくれた。3日で、5人の女性から電話を頂いた。「このまま、戦争になつて息子が戦争に行き、人を殺すようにならくなつたらと思うと…」「とにかく戦争を止めなければ」「國の参戦がいのち
言うのなら地方でやります」との声! すぐ喜びました。それで資料を送った。

石狩のKさん、朗読はあわせて、反戦詩をひもとっている。私はヒアノを弾いて…。
「アンテラック」の絵本や「三びきのやわらかおおやみ」「ストーンスープ」「世界一一番強い国」など、大人もじんとくる絵本が沢山。憲法の朗読も、出来ている。百合子
(8)